

Lamimate

コールドラミネータ

IKO-1400EIS

取扱説明書

このたびはユーボンコールドラミネータをお
買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読み
いただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に
大切に保管しておいてください。

YUBON

目次

	ページ
安全に正しくお使いいただくために	2
使用上のご注意	5
各部の名称と働き	6
●本体部 ●コントロールパネル部	
開梱について	7
設置の仕方	7
付属品の取り付け	9
フィルムをセットする	12
ラミネートを始める前に	15
ラミネートを始める	16
ボード貼りをする	18
マグネットシートヘメディアを貼る	19
主な仕様	20
付属品	21
故障かな？と考える前に	22

特長

- ポスター、カタログ、文書、図面などを大型サイズまで美しく、ラミネートすることができます。
- 広範囲な材質に対して粘着可能なコーティング膜を持つラミネートフィルムにより、様々な業界で利用することができます。特に印刷・広告の分野などにおいては、高い実用性を持っています。
- 合理的な設計に基づく構造により、初心者でも簡単に作業することができます。

安全に正しくお使いいただくために

本機を安全に正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は必ず実行していただかなければならない内容を示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと）が描かれています。



警告

■故障したままの使用はしない



電源プラグをコンセントから抜いてください

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、専門のサービス担当者に連絡を取ってください。

■絶対にカバー（左右）ははずさない、改造しない



分解禁止

- 本機のカバー（左右）は絶対にはずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は専門のサービス担当者にご相談ください。
- 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■巻込みに注意



巻込注意



指をはさまないように注意

- 本機のコーティングローラーなどに指や手をはさみ込んだり、服の袖、ネックレスやネクタイを巻き込まれないように注意してください。けがの原因となります。

警告

■ 100V以外の電圧で使用しない



- 本機に表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧には絶対に接続しないでください。火災・感電の原因となります。本機の電源プラグがソケットに合わない場合は専門のサービス担当者に相談してください。

■ 転倒に注意



- 設置面が安定しない場所では本機が倒れてけがの原因となります。本機の移動や据え付けの際は、急激な停止や無理に力を加えたり、設置面が安定しない場所は避けてください。

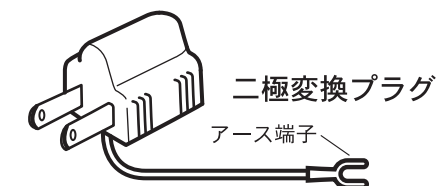
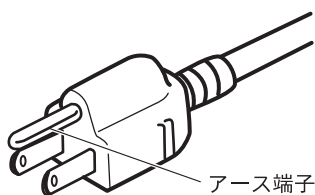
■ 水や異物を入れない



電源プラグをコンセントから抜いてください

- 本機にそぐわない物は挿入しないでください。けがや故障の原因となります。また、本機の内部に水などがいった場合は、すぐに本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて専門のサービス担当者に連絡してください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

■ 電源コードのアース端子は確実に接地処理した上で、製品を使用する



- 接地処理を行っていない製品の処理に付いては、保証期間でも有償とさせて頂く場合がございます。ご理解の程をお願い申し上げます。

■ 損害について

- 弊社の保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生じた附随的いかなる損害（逸失利益、営業損害、間接損害、特別損害またはその他、金銭的損害、求償金）に関して一切の責任を負わないものとします。また、弊社に損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
- 弊社が推奨するラミネートフィルム、アンダーフィルムなどの消耗材以外を使用して不具合が生じた場合は、保証を致しかねます。万一、フィルムなどの消耗材に関連する不具合が発生した場合は、それら消耗材を納入時の梱包状態に戻した上で、高温多湿、直射日光の当たる場所を避けて保管した上で弊社までご連絡ください。

注意

■ ローラーの加圧について



- 弊社製品でラミネートを行う場合の加圧法は、ハンドルを操して上ローラーを降ろしていくとハンドルの操作感が軽くなります。ハンドルはその状態内に留めてラミネートを行ってください。
- 弊社製品でラミネート作業の加圧方法は、ローラーの自重によって行います。よって、ラミネート時に上ローラーを降ろし過ぎますと、ローラーの加圧バランスが崩れて、均一にラミネートが出来なくなります。
- 操作の目安としては、ハンドルを操作して上ローラーが下ローラーに乗った状態になると、ハンドルを操作感が軽くなります。そのローラー状態が弊社製品のラミネート作業において適圧ですので、それ以上はハンドルをDOWN方向に回さないでください。

■ 離ケイ紙の剥がれているラミネートフィルムについて (セットした状態のまま次回使用する場合)



- ホコリ・ゴミの付着や離ケイ紙の剥離痕等の要因により、ラミネートの仕上がりに影響を及ぼす場合があります。この部分のご使用は避けてください。

■ 電気コード、電源プラグの注意



- めれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、コードを持って行ってください。コードが傷つき、火災・感電・転倒の原因となることがあります。
- 電源プラグやコードが傷んだら専門のサービス担当者に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となる場合があります。

■ 修理・点検について



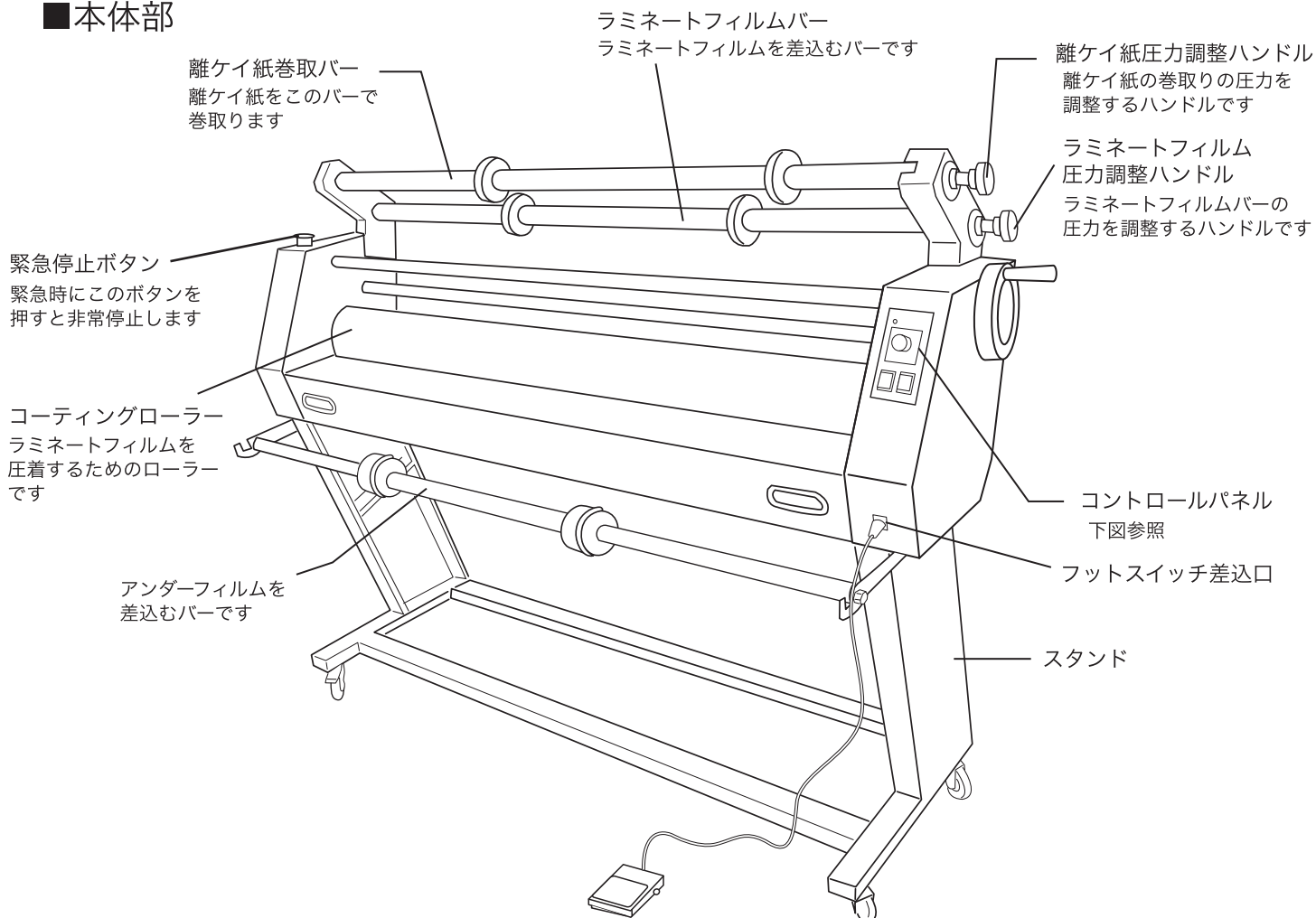
- 本機の修理はご自分で行わないでください。次のような場合には電源プラグを抜き、専門のサービス担当者にご連絡ください。
 - ・電源コードや電源プラグが損傷した。
 - ・本機の内部に液体が入った。
 - ・間違った操作をした後、本機がうまく動作しなかった。
 - ・本取扱説明書通りに本機が動作しない。

使用上のご注意

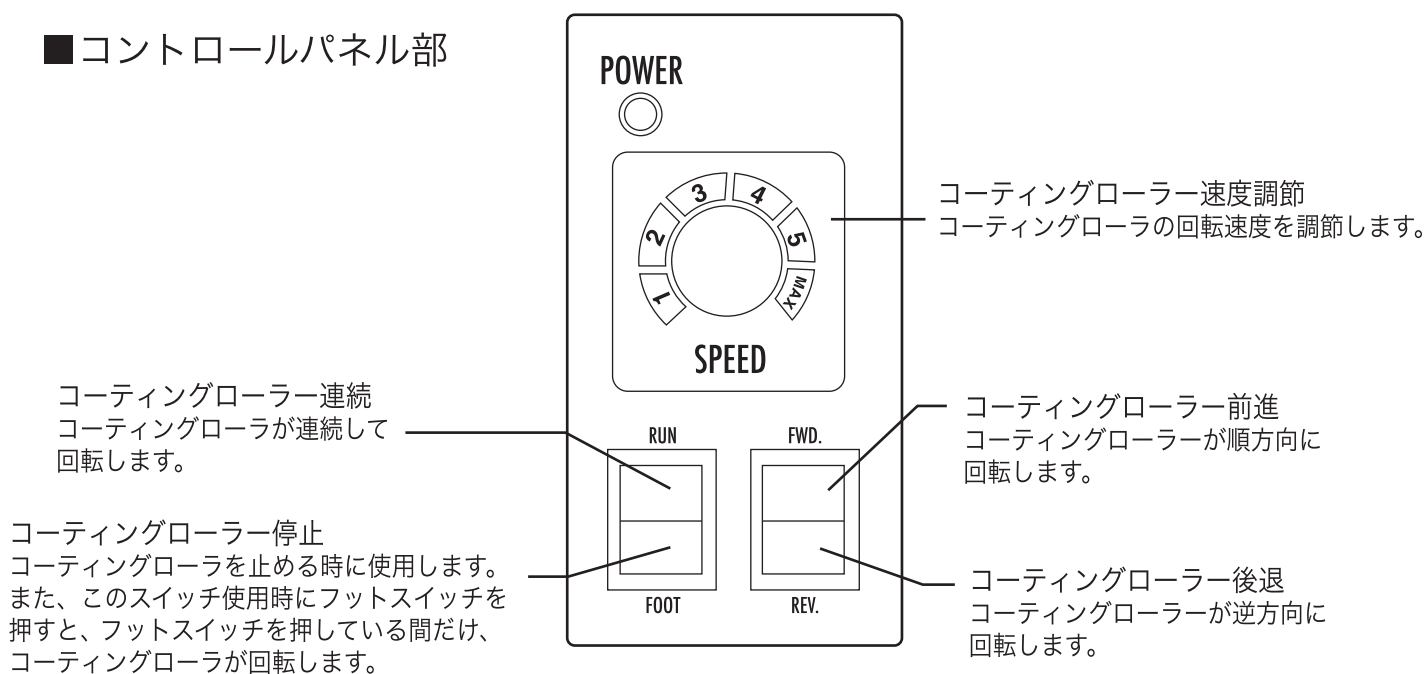
- アース線は必ず接続してください。
- ラミネートを始めるときは、思わぬ事故を防ぐため、フットスイッチまたはコントロールパネルのスイッチを使用し、できるだけ低速で本機を操作してください。
- ラミネート加工をするため、本機をできるだけ以下のような環境でご使用ください。
 - 温度：20℃～30℃の範囲内でご使用ください。
 - 本機を直射日光の当たる場所には設置しないでください。
 - 湿度：40%～70%以下でご使用ください。
 - ラミネート時にはコーティング膜の静電気により、ほこり、ゴミ等が吸着されることがありますので、できるだけ本機をほこり、ゴミ等が少ない場所に設置してください。
- 本機を効率的にまた安全にご使用できるように周りに十分なスペースを確保してください。
- 本機の損傷を防ぐため、コーティングローラーの表面でラミネートフィルムを切らないでください。コーティングローラーに傷が付いてコーティングローラーを損傷することがあります。
- カッターやギザギザした物、厚くて硬い物などはラミネートしないでください。また、定規、カッターなどを作業時に前テーブル、後テーブルの上などに放置しないでください。コーティングローラーに巻き込まれると故障の原因となります。
- コーティングローラーの変形を防ぐため、長期間使用しないときは、コーティングローラーを持ち上げた状態にしておいてください。
- 本機を使用しない時は、上ローラーを少し上げて下ローラーとの間にすき間を開けてください。上下ローラーを密着したまま放置するとローラーの変形の原因になります。
- ローラーに糊等の汚れが付着した場合、速やかに清掃してください。汚れたローラーは、密着不良の原因になります。
- ローラーの清掃は、無水エタノールと柔らかな布でローラーを傷つけないように行ってください。
- 本機を分解・改造しないでください。

各部名称と働き

■本体部



■コントロールパネル部



開梱について

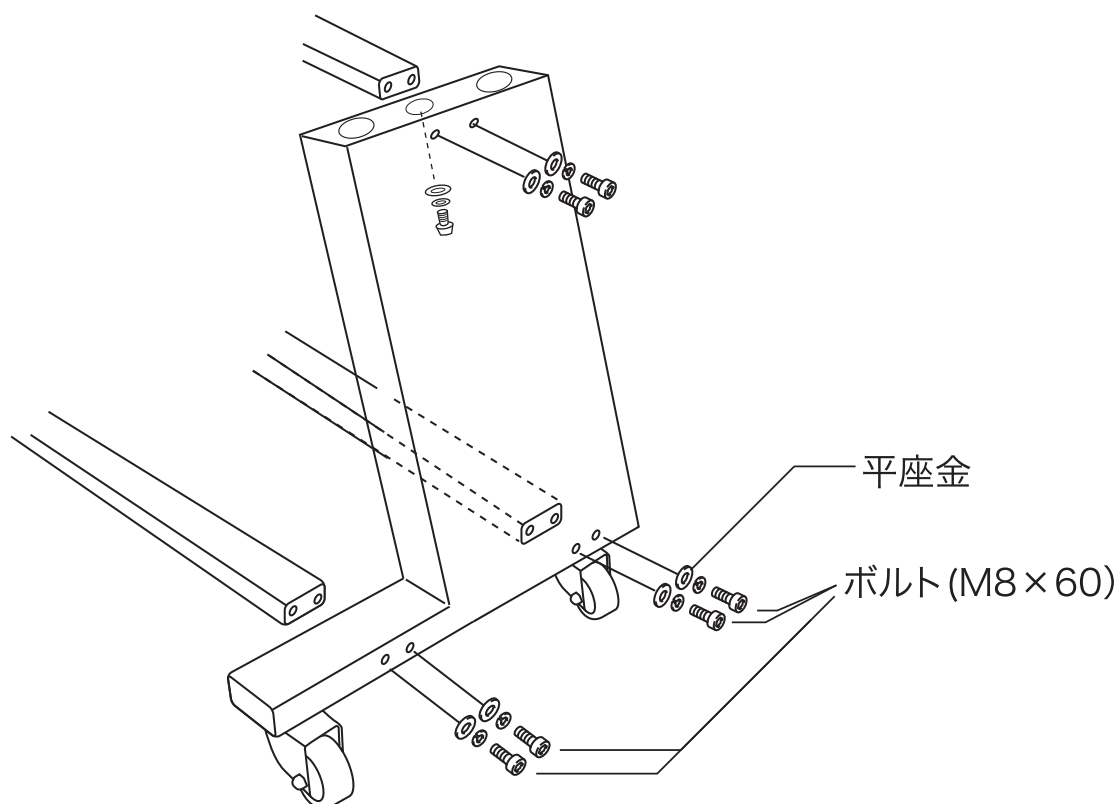
- 本体、フィルムバー、専用スタンドの取り出し
本体、フィルムバー、専用スタンドを梱包箱より取り出します。
固定していた部品は必ず保管しておいてください。

ご注意!!

本体は非常に重いので、取り出す時は落下などに注意しながら行ってください。
また、製品を取り出す際傷をつけないようにご注意ください。

設置の仕方

- 専用スタンドの組み立て
下記の方法でスタンドを組み立てます。直線の足が前方にくるように組み立ててください。
付属のボルトで上下3本の支柱を取り付けます。
下図は右側部分の取り付け方法です。左側も右側と同じ方法で取り付けてください。



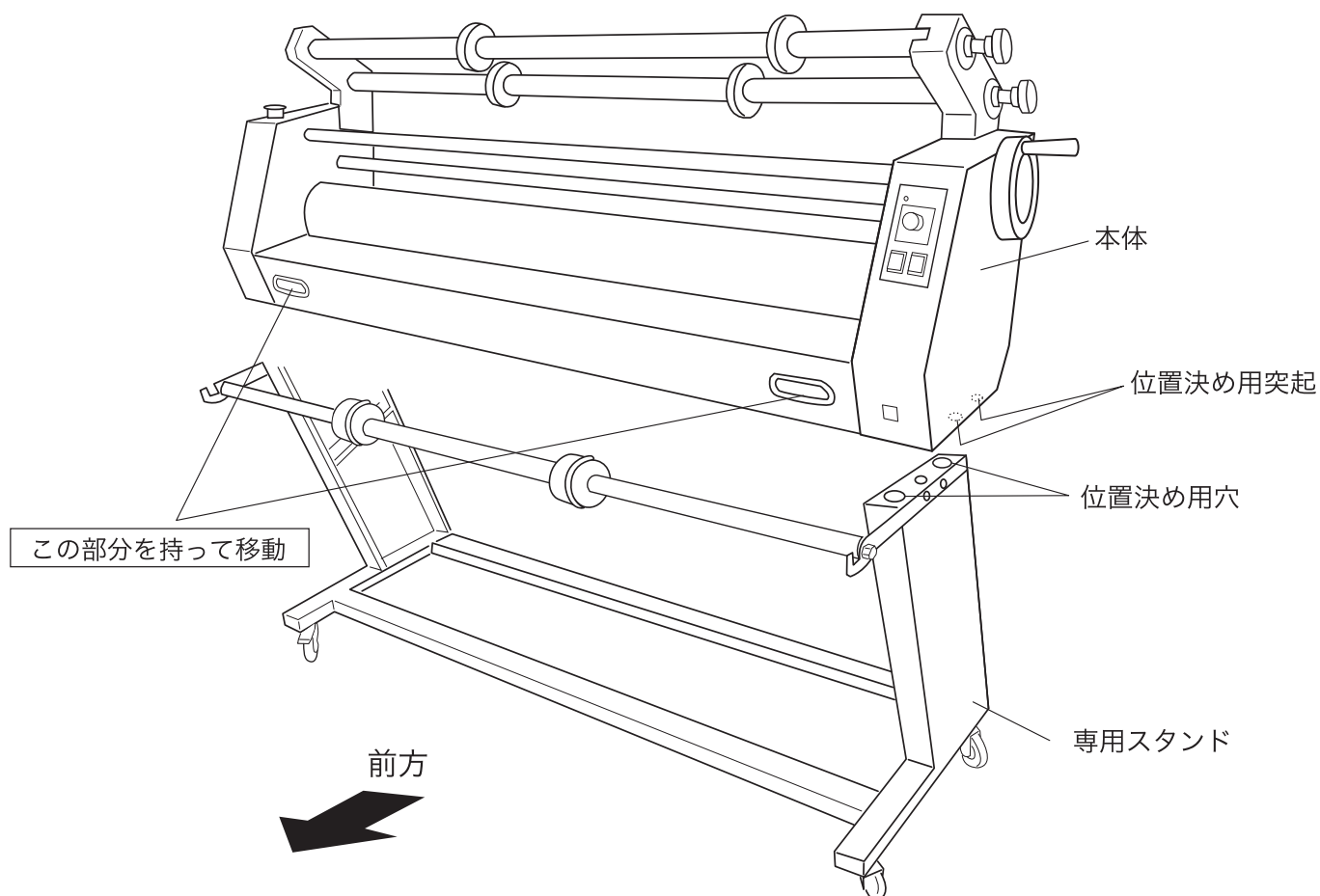
●専用スタンドへの設置

本体を組み立てた専用スタンドに設置します。本体底面の位置決め用突起を専用スタンド上部の位置決め用穴に合わせて設置します。

ご注意!!

本体を移動したり、設置する場合は、必ず本体の下図の部分を持って行ってください。

ローラー圧力調整用ハンドル、コーティングローラーや左右ケースを持って移動させることは絶対に行わないでください。本機の転倒、落下、故障の原因となります。

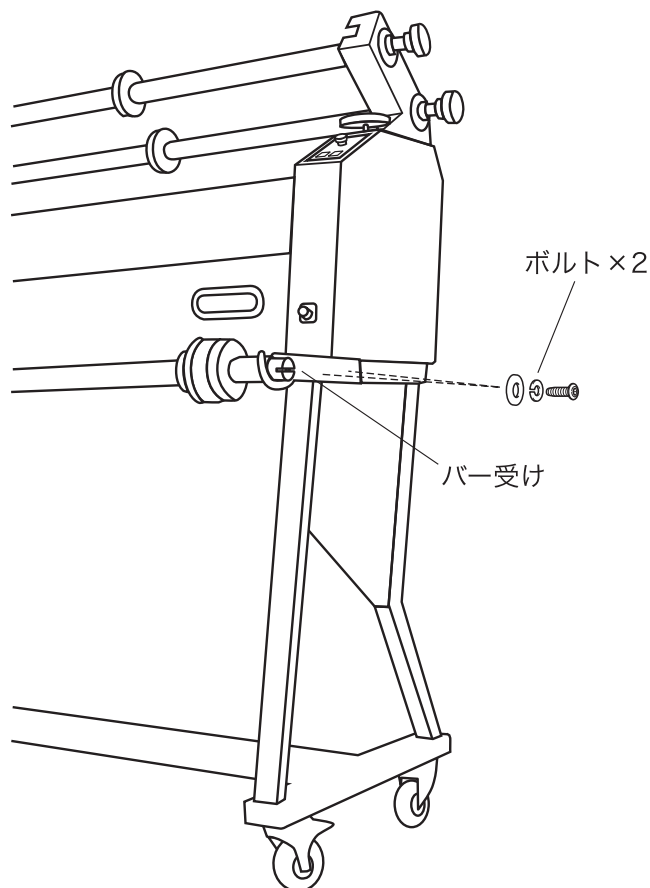


付属品の取り付け

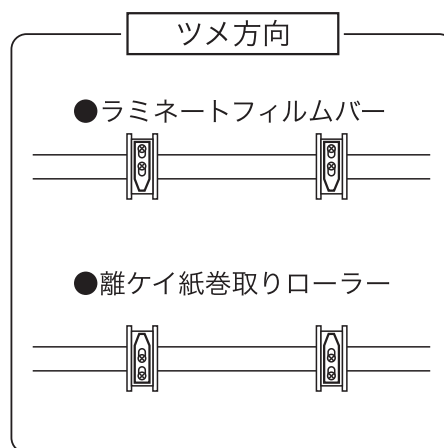
■アンダーフィルムバー受けの取り付け

アンダーフィルムバー受けを付属のボルトで本体に取り付けます。

- 下図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。



- 各バー・ローラーをセットする際にツメ方向を確認し正しい方向にセットしてください。

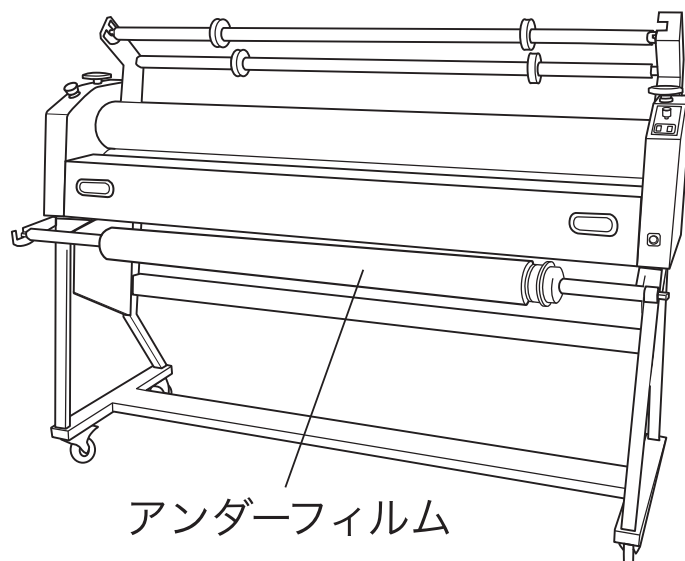


- ツメが正しくセットされていない場合、フィルムのスリップ等ラミネート作業に支障が出る場合があります。

■アンダーフィルム用バー、ラミネートフィルム用バーのセット

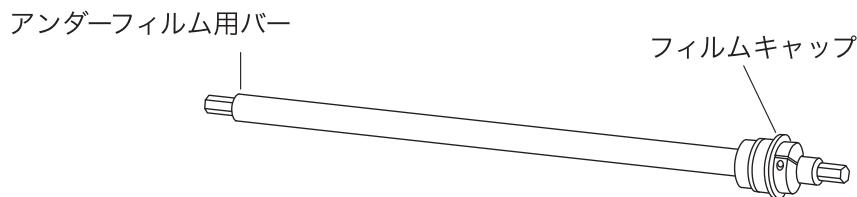
アンダーフィルム用バーを下図のようにバー受けに乗せます。

- アンダーフィルム用バーはバー受けにセットする。

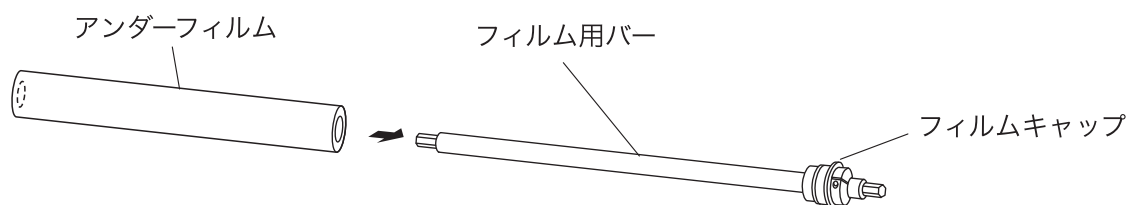


■アンダーフィルムおよびラミネートフィルムを各バーにセットするには
●アンダーフィルム

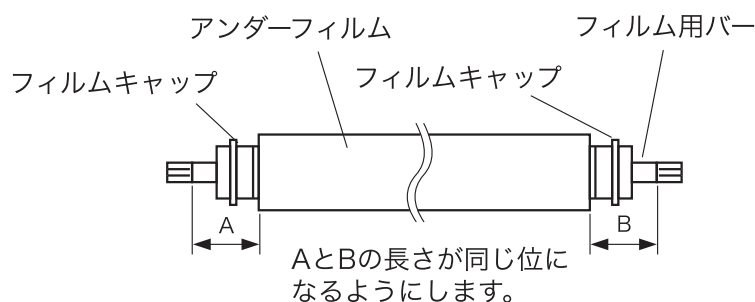
- 1 フィルム用バーから片側のフィルムキャップを取り外します。



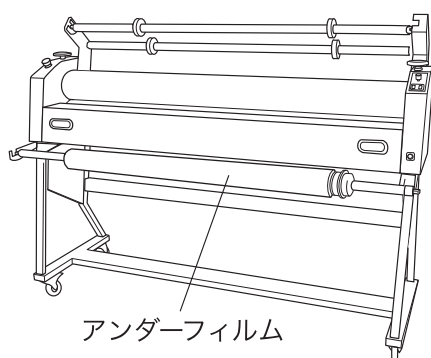
- 2 アンダーフィルムにフィルム用バーを通します。



- 3 アンダーフィルムがアンダーフィルム用バーのほぼ中央にくるようにしてフィルムキャップを固定してください。

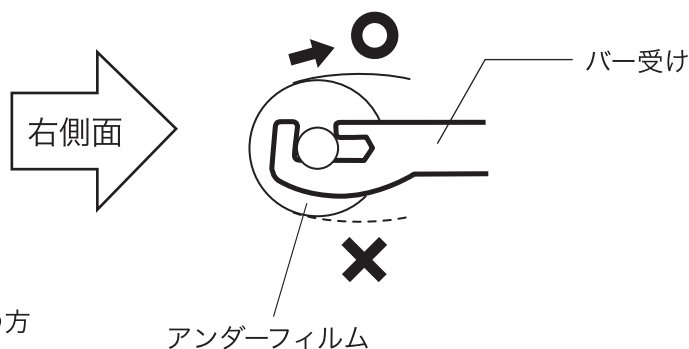


- 4 アンダーフィルムをセットしたバーをバー受け（前）に乗せます。



ご注意!!

この時、アンダーフィルムは下図の方向（下側）よりフィルムが出るようにしてください。

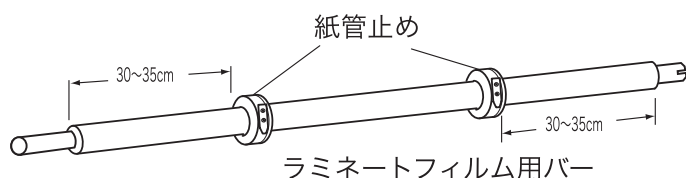


アンダーフィルムを取り外す時

アンダーフィルムを少し持ち上げ、自身の方へ転がすようにすると外しやすくなります。

●ラミネートフィルム

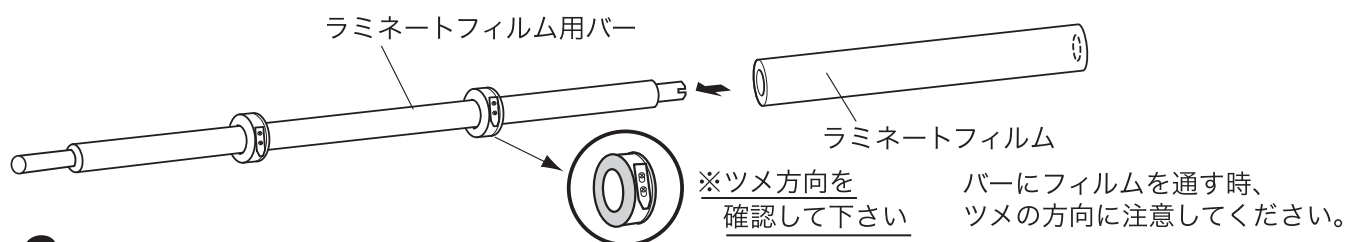
- 1 ラミネートフィルム用バーの紙管止めネジをゆるめ、左右のバー受けから30～35cm程の所で止めます。



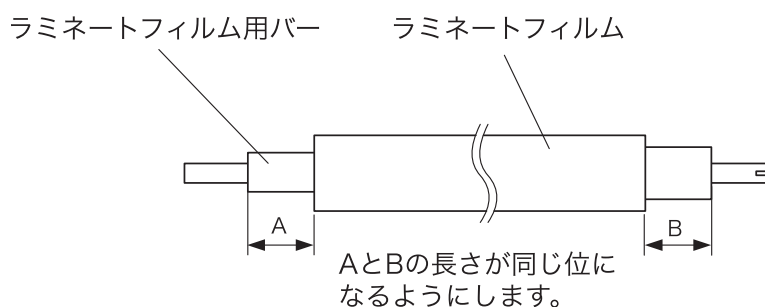
ご注意!!

紙管止めの間隔は、左右等間隔にしてください。

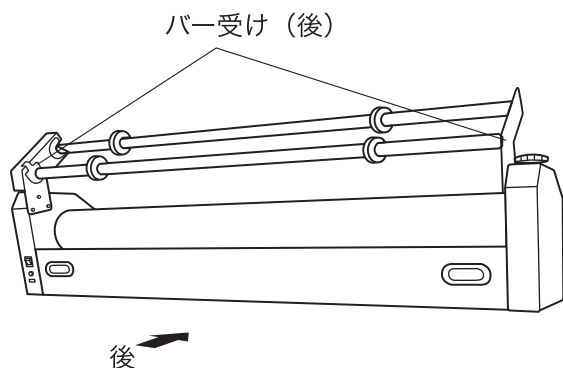
- 2 ラミネートフィルムにラミネートフィルム用バーを通します。



- 3 ラミネートフィルムがラミネートフィルムバー用のほぼ中央にくるようにセットしてください。

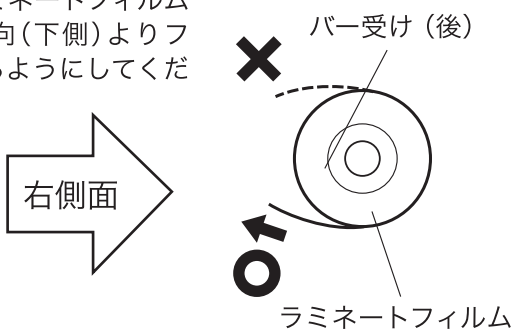


- 4 ラミネートフィルムをセットしたバーをバー受け（後）に乗せます。



ご注意!!

この時、ラミネートフィルムは右図の方向（下側）よりフィルムが出るようにしてください。



■リケイ紙巻取りローラーについて

リケイ紙巻取りローラーに紙管を前もって取り付けてください。

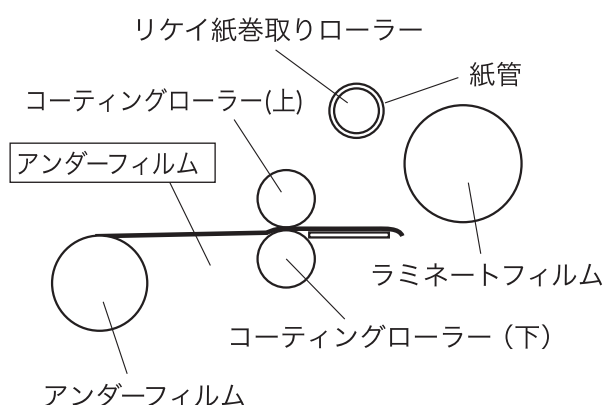
フィルムをセットする

■ラミネートフィルムおよびアンダーフィルムをセットする

ラミネート加工をする前にアンダーフィルムおよびラミネートフィルムを下記の手順で本機の各ローラーに通しラミネート加工の準備をします。

●下図はそれぞれのフィルムセット方法をわかりやすくするため、イラストを簡略化してあります。

1 アンダーフィルムをセットする

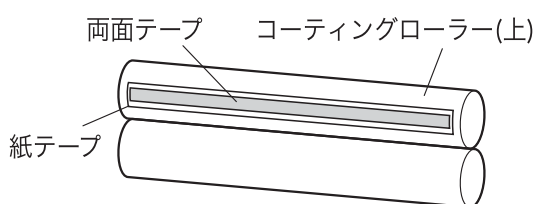


図のようにアンダーフィルムをコーティングローラー(上)とコーティングローラー(下)の間に通しておきます。

2 コーティングローラー(上)を下げる

- コーティングローラー圧力調整ハンドルをDOWN方向へハンドルが軽くなる範囲まで回してコーティングローラー(上)を下げます。

3 コーティングローラー(上)に紙テープと両面テープを貼り付ける



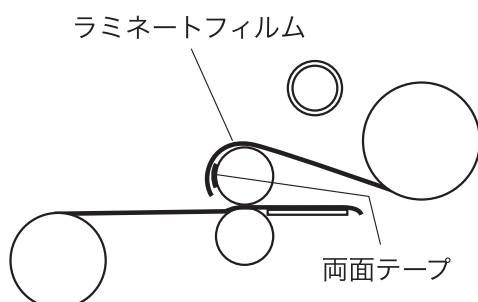
コーティングローラー(上)に1~2cm幅の紙テープを図のように貼り付け、その上に紙テープより少し幅の狭い両面テープを貼り付けます。

ヒント

紙テープの粘着力が強いときは、一度服などにつけて粘着力を弱めてから貼り付けてください。

両面テープはラミネートフィルムの幅よりも広く貼り付けてください。

4 コーティングローラー(上)に貼った両面テープにラミネートフィルムをしっかり貼り付ける



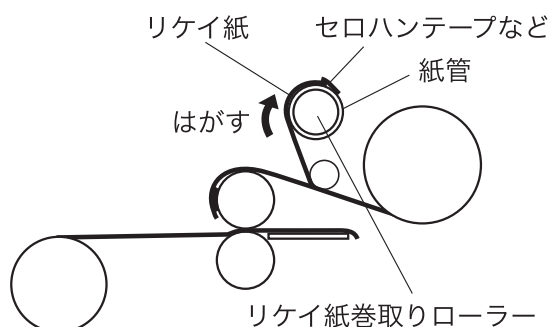
ヒント

ラミネートフィルムはコーティングローラーの中央部から左右に伸ばすように貼り付けると、うまく貼り付けられます。

ご注意!!

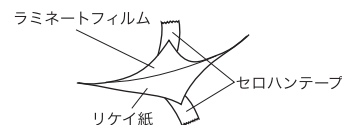
貼り付けたラミネートフィルムにしわがある場合は、もう一度貼り付け直してください。

5 ラミネートフィルムのリケイ紙をはがし、リケイ紙をリケイ紙巻取りローラーの中央にセロハンテープで固定する

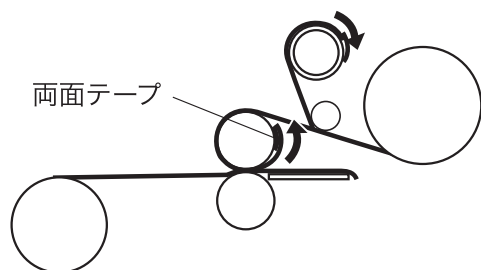


ヒント

- リケイ紙巻取りローラーに予め紙管を取り付けてお使用頂くと巻取ったリケイ紙の処分がスムーズに出来ます。
- リケイ紙をはがすときはセロハンテープなどを使うと便利です。
- リケイ紙は左右均等にはがしてください。
リケイ紙はリケイ紙巻取りローラーの中央一ヶ所をセロハンテープ等で止めると、巻取り始めの左右のバランスが良くなります。



6 コーティングローラー(上)にラミネートフィルムを貼った両面テープが図の位置にくるまでパネルの前進スイッチを押し、ローラーを回転させる



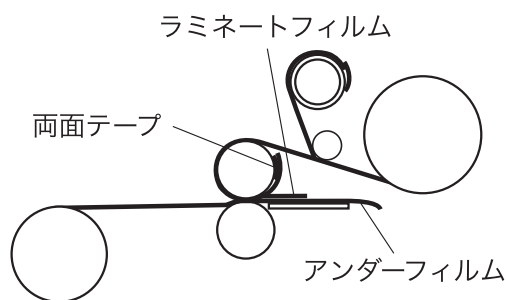
ご注意!!

- ローラーにアンダーフィルムが付いて回ってきますので回しすぎに注意してください。
- 安全のためできるだけローラーの回転は低速で行ってください。

ヒント

作業者がフットペダルを持ち、本機の後方にまわり、目視で確認しながら作業をされることをおすすめします。

7 コーティングローラーに貼ったアンダーフィルム、ラミフィルム、両面テープ、マスキングテープを剥がす



コーティングローラーに紙テープや両面テープが付いているときは、この時に必ず取ってください。

ご注意!!

ラミネートフィルムおよびアンダーフィルムにしわがあるときは、手順2～7をくり返してセットし直してください。

■ コーティングローラーの圧力を調整するには

左右のコーティングローラー圧力調整ハンドルをDOWN方向に回してコーティングローラー（上）が（下）に接するとハンドルの操作感が軽くなる遊びの範囲があります。コーティングローラー圧力調整ハンドルをこの範囲に収まるように調整してください。この状態がもっともバランス良く加圧でき安定したラミネートができます。ラミネートする材質に合わせ、圧力を調整してください。

ご注意!!

- コーティングローラー圧力調整ハンドルの調整が遊びの範囲でなく、ハンドルが固い状態（ローラーを上げた状態や下げ過ぎた状態）でラミネートを行うと、メディアやラミネートフィルムにかかわる圧力バランスがくずれて、ラミネートにシワが入ったりセットしたフィルムが蛇行します。

ヒント

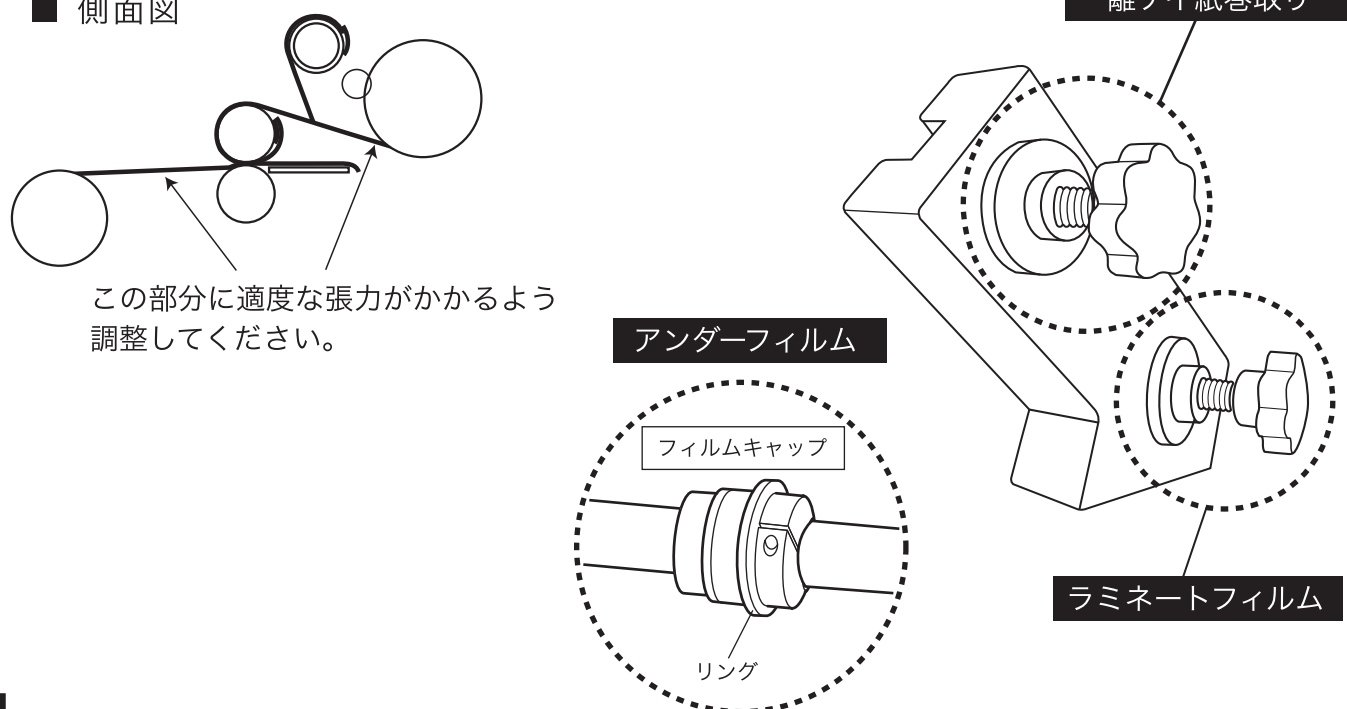
- コーティングローラーが下がりきった時にハンドルは止まりますが、止まる寸前にハンドルが軽くなる範囲があります。（その範囲が最適な圧力となります）
- 圧力調整ハンドルを時計方向または反時計方向に1回転回すと、コーティングローラーの高さが約1.5mmそれぞれ方向（上または下）に移動します。ラミネートする材質の厚さに合わせる目安としてください。

■ ラミネートフィルム、離ケイ紙巻取り、アンダーフィルムの張り調整

ラミネートフィルムローラー、離ケイ紙巻き取り用紙管、アンダーフィルムローラーをセットした後、手でラミネートフィルムおよびアンダーフィルムを引っ張ってみます。手で引っ張った時、それぞれのフィルムに適度な張力がかかっていることが必要です。張力がかかっていない場合は、アンダーフィルムはフィルムキャップのリングを回して張力を調整してください。ラミネートフィルムは圧力調整ハンドルを回して張力を調整してください。

ラミネート中にラミネートフィルム、アンダーフィルムのそれぞれに適度な張力がかかっている必要があります。フィルムにたるみやシワが入る時は、アンダーフィルムはフィルムキャップのリングを回して張力を調整してください。ラミネートフィルムは圧力調整ハンドルを回して張力を調整してください。

■ 側面図

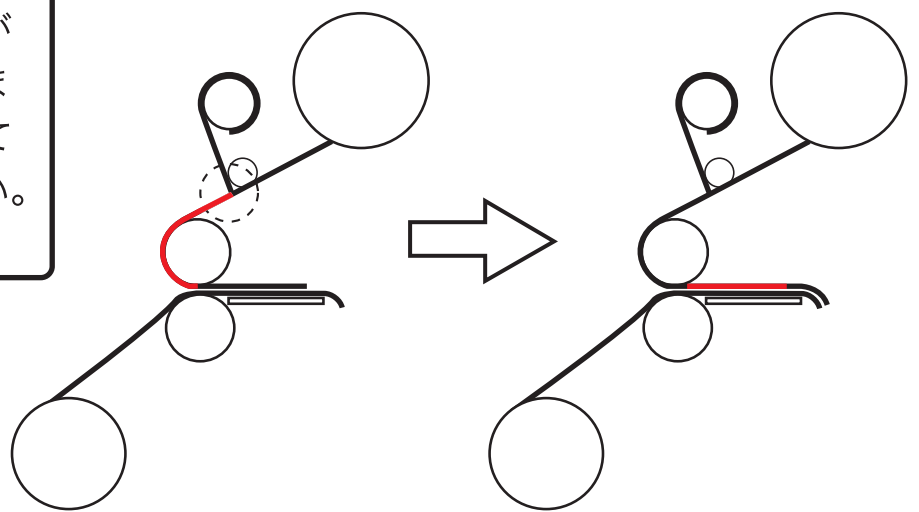


ラミネートをはじめる前に

ラミネートをする際、赤線部分は図のように後ろに送ってからラミネートをはじめてください。

※ラミネート中はローラーを止めないでください。作業中にローラーを止めるとラミネート面に白い線が出来てしまいます。

離ケイ紙の剥がししろが
白い線でフィルムに出ま
すので赤線部分を避けて
ラミネートしてください。



●連続してラミネート作業を行わない時は、ラミネートフィルムを本体にセットした状態で放置しないでください。特にラミネートフィルムの糊が露出した部分についてはホコリやゴミの付着、フィルム糊の変質する恐れがあります。この部分の使用は避けてください。

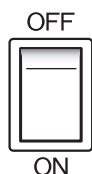
ラミネートを始める

ラミネートを始める前に、ラミネートする材質と同じものをサンプルとしてラミネート加工し、ラミネートの状態を確認めることをおすすめします。

ヒント

ラミメイトの前テーブルに養生シートを貼ると、アンダーフィルムがスムーズに流れます。

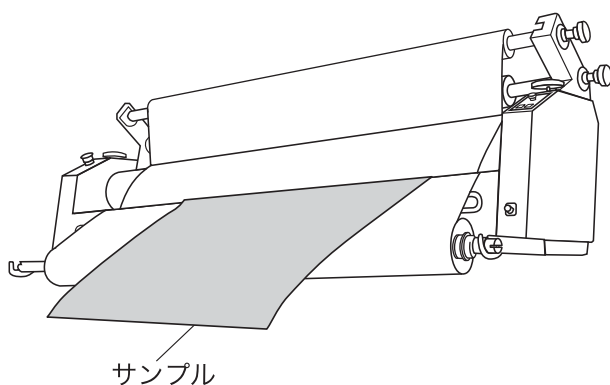
1 電源を入れる



電源スイッチを押して電源を入れます。

●電源スイッチが赤色に点灯します。

2 前テーブル上にサンプルを用意する



ご注意!!

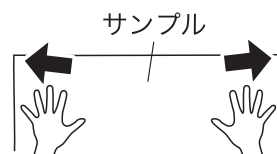
- サンプルを用意する際は下記の点に注意してください。
- サンプルにほこりが付かないようにする。
- サンプルにしわが出ないようにする。
- サンプルがコーティングローラーに真すぐ入れられるようにする。

3 フットスイッチまたは前進スイッチを押して、サンプルをコーティングローラーに送り込む

- コントロールパネル → スイッチを "連続" に入れる
- フットスイッチ → スイッチを "ステップ" に入れ、フットスイッチを使用

- 両手でサンプルを持ち外側に引っ張りながらコーティングローラーに真すぐ送り込んでください。

- この時、コントローラーパネル部のコーティングローラー前進/後退切換えスイッチを "前進" に切り換え、速度調節つまみで ラミネート速度を調整しておきます。

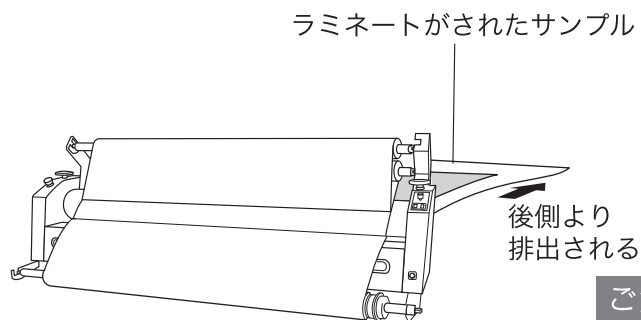


ヒント

定規などを使用してサンプルを押さえると、サンプルを安定して送り込めます。サンプル全体を均一に押さえることができるのでシワが入りにくく、安定してラミネートできます。

4

ラミネートされたサンプルが本体の後側より排出されますので、ラミネートが終った所でカッターなどでラミネートフィルムをカットする。



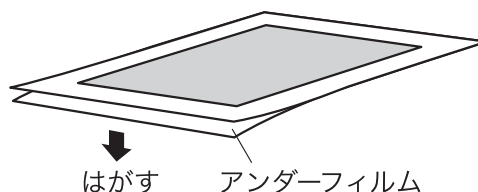
ラミネートされたサンプルにしわがないかなど確認し、ラミネート状態がうまく行われるようであれば再度、正式なラミネートする材質を同様の方法でラミネート加工します。

ご注意!!

ラミネートされたサンプルにしわ、空気などが入っているようであれば、ラミネートフィルムの張り具合、コーティングローラーの圧力等を再度確認してください。

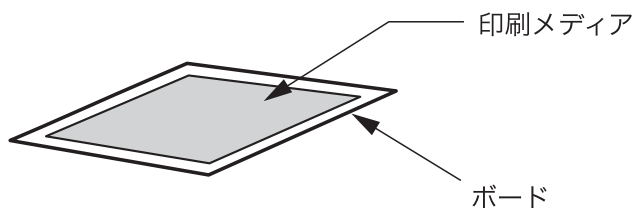
5

余分なラミネート部分があればカッターなどで切りおとし、アンダーフィルムをはがす。



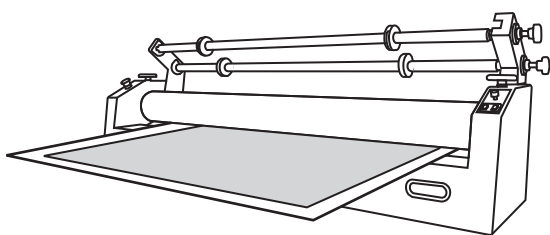
ボード貼りをする

1 ボード・印刷メディアをセットする



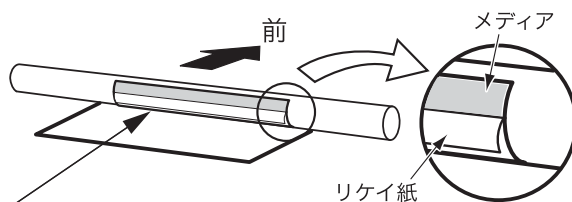
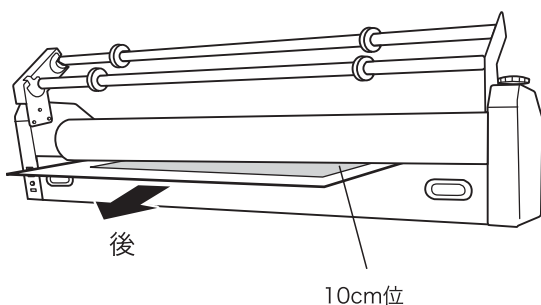
- ボードは貼り込む印刷メディアより大き目のものをご用意ください。

2 前テーブル上にセットしたボードをローラーに差し込む



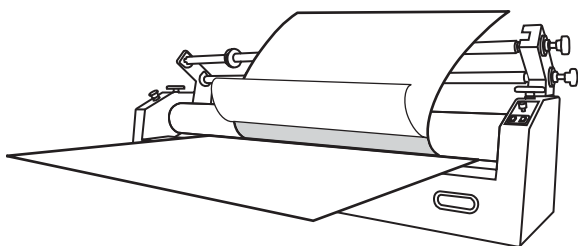
- 上ローラーを十分に上げボードやメディアがずれないように差し込む。
- 圧力調整ハンドルを回しハンドルが軽くなる所までローラーを下げる。

3 フットスイッチまたは前進スイッチを押して、貼り込むメディアを10cm位送り込む



- 後側に出たメディアのリケイ紙を3~4cm幅でめくり折り返す。
- 後退スイッチを押してリケイ紙を折り返したままボードを前側に戻す。（ガイドになる部分の接着が完了）

4 リケイ紙を剥がしながらフットスイッチまたは前進スイッチを押して、メディアを貼る



ご注意!!

- 貼り込む際にリケイ紙を剥がし過ぎないように注意して下さい。（ゴミ付着の原因になります）

ヒント

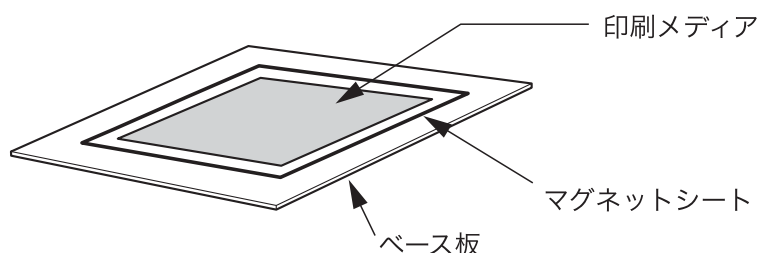
ローラーの速度に合わせてゆっくり、少しずつ剥がして下さい。

5 余分な部分を切りおとして完成です。

マグネットシートへメディアを貼る

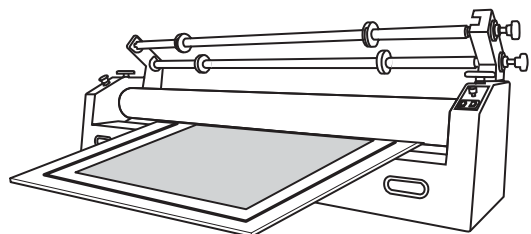
- メディア（マーキングシート）はマグネットシートに貼る前にラミネート加工を施して下さい。
- マグネットシートに印刷したマーキングシート等を貼る場合、ラミネーターの他にスチレンボード等の弾力性のあるベース板を予めご用意下さい。

1 ベース板の上にマグネットシート・メディアをセットする



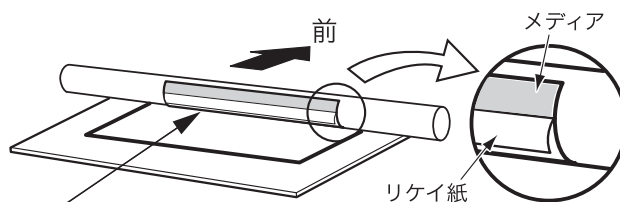
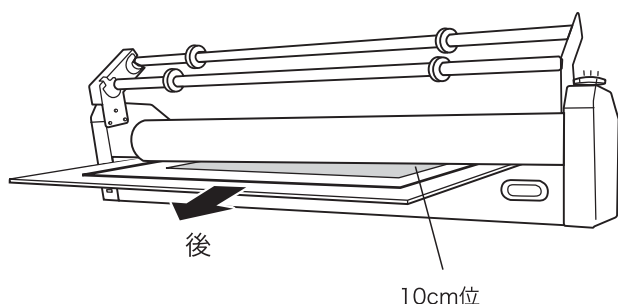
- マグネットシートは貼り込む印刷メディアより大き目にカットしてご使用下さい。

2 前テーブル上にセットしたベース板を用意してラミーマンに差し込む



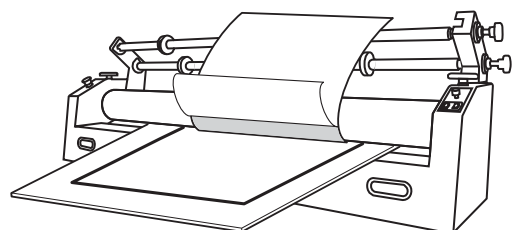
- 上ローラーを十分に上げマグネットシートやメディアがずれないように差し込む。
- 圧力調整ハンドルを回しハンドルが軽くなる所までローラーを下げる。

3 フットスイッチまたは前進スイッチを押して、貼り込むメディアを10cm位送り込む



- 後側に出たメディアのリケイ紙を3～4cm幅でめくり折り返す。
- 後退スイッチを押してリケイ紙を折り返したままベース板を前側に戻す。（ガイドになる部分の接着が完了）

4 リケイ紙を剥がしながらフットスイッチまたは前進スイッチを押して、メディアを貼る



ご注意!!

- 貼り込む際にリケイ紙を剥がし過ぎないように注意して下さい。（ゴミ付着の原因になります）



ローラーの速度に合わせてゆっくり、少しずつ剥がして下さい。

5 余分な部分を切りおとして完成です。

主な仕様

	ラミメイト (1400EIS)
最大ラミネート幅	1380 mm
最大ラミネート厚	20 mm
ラミネート速度	0~4m/min
定格電源	AC100V 50/60Hz
定格入力電源	38W
外形寸法 (W×D×H)	1680×560×1230(mm)
本体質量 (重量)	108 kg

ご注意!!

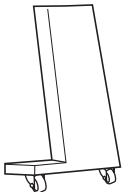
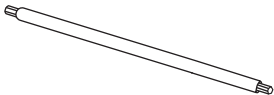
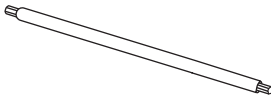
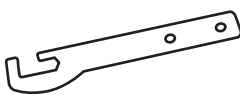
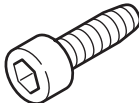
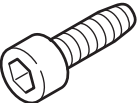
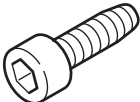
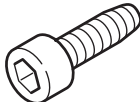
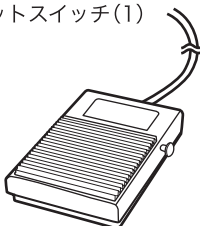
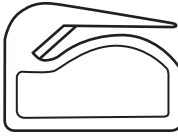
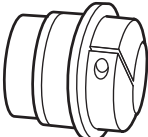
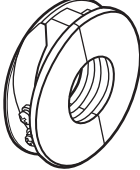
本機の定格電圧以外の電圧は絶対に使用しないようにしてください。

※仕様および外観は予告なく変更することがあります。

付属品について

本機には以下の付属品が同梱されています。お確かめください。

() 内の数字は数量を示します。

専用スタンド脚(2) 	巻取りバー(2) 	アンダーフィルム用バー(1) 	バー受け(2) 
内六角レンチ4(1) 	内六角レンチ5(1) 	内六角レンチ6(1) 	内六角固定ボルト(12) M8×80 
内六角固定ボルト(2) M6×50 	内六角固定ボルト(6) M5×14 	内六角固定ボルト(4) M5×20 	平座金 φ8(8) M8×80 
スプリング座金 φ8(8) M80×80 	平座金 φ8(4) M8×55 	スプリング座金 φ8(4) M8×55 	平座金 φ5(4) M5×20 
スプリング座金 φ5(4) M5×20 	平座金 φ5(6) M5×12 	スプリング座金 φ5(6) M5×12 	フットスイッチ(1) 
離ケイ紙カッター(1) 	フィルムキャップ(2) 	紙管止め(4) 	取扱説明書(本書1)・保証書 

故障かな？と考える前に

本機が正常に動作しないときは、下表を参考にしてお調べください。これらの処理をしても直らないときは、「お名前」「おところ」「電話番号」「製品名」「故障状況」をできるだけ詳しくサービス担当者までご連絡ください。

現 象	原 因	解決方法
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントに接続されていない ● ヒューズが切れた	● 電源プラグをコンセントに接続してください ● 本体背面のヒューズボックスのヒューズを交換する。
コーティングローラーが回転しない	● 電源が入っていない ● コーティングローラーの圧力が大きすぎる ● コーティングローラーの間に異物をはさまった ● セットしたフィルムの回転が重すぎる	● 電源スイッチを押して、電源を入れる ● コーティングローラーを上げて、圧力を減少させる ● コーティングローラーを上げて、異物を取り除く ● フィilm用バーの調整用キャップを操作して、フィルムの回転を軽くする
ラミネートした図面・文書が曇し、白い点が付く	● コーティングローラーの圧力が足りない ● 図面・文書の表面にホコリがついている ● ラミネートフィルムの品質がよくない	● コーティングローラーを下げて、圧力を増加させる ● 図面・文書の表面のホコリを取り除いてラミネートする ● ラミネートフィルムを交換する
ラミネート中にラミネートフィルムが著しく片方にゆがんだ	● ラミネートフィルムをセットした際のフィルム両側の引っ張りが同じでない	● 改めてラミネートフィルムを正しくセットする
ラミネートした図面・文書にしわや気泡がある	● コーティングローラーの圧力が大きすぎる ● ラミネートフィルムをセットした際のフィルム両側の引っ張りが同じでない ● 図面、文書がコーティングローラーにまっすぐ送り込まれていない	● コーティングローラーを上げて、適当に圧力を減少させる ● 改めてラミネートフィルムを正しくセットする ● 図面、文書をコーティングローラーにまっすぐ送り込むようにする

ご注意!!

分解・改造等された場合の故障に対する修理に関しましては、保証期間中であっても保証対象外となります。

仕 事 の 道 具 を 考 え る

YUBON

株式会社ユーボン 〒441-8086 愛知県豊橋市問屋町9-2
tel.0532-34-5700 fax.0532-34-5705
FAXフリーダイヤル 0120-771020
E-mail youbon@youbon.co.jp URL <http://www.youbon.co.jp>

販売店
